
【企業版2°C目標ネットワーク】 ソリューションご紹介

2018/10/29

株式会社 日立コンサルティング
エネルギーコンサルティング本部

■ 企業に求められる対応や施策

事業戦略に沿った削減計画の策定

- GHG削減目標の策定
- 削減計画の実行
- 将来の技術動向の調査

各種レポートへの対応

- 自社のGHG排出量の算定
- CDP回答への対応、CDPで高ランクの取得

ESG投資に向けた自社アピール

- SBT認証の取得
- パリ協定後のESG投資のトレンド把握と効果的なIR展開
- 最小限の負担で自社の再エネ利用率の向上
- PPAなどを活用した外部から再エネの調達
- RE100対応の支援

経済合理性に見合った再エネ導入

- カーボンプライシングの動きへの対応
- EV導入についての検討
- カーボンクレジット導入についての検討

脱炭素化に向けた対応

- 二国間クレジット制度を活用した海外市場の開拓
- 海外拠点での排出削減・再エネ導入の検討
- 海外のステークホルダーに向けた取組発信

海外市場における対応

日立コンサルティングの強み

気候変動対策への関心が高まる中、企業にとって重要なのは地球環境保護への真摯な姿勢と、低炭素時代においても順調に成長していけることを示すことです。設備導入からデジタル化まで、国内、海外で多数のエネルギーコンサルティングを手がけた日立だからできる、低炭素・脱炭素ソリューションを提供します。

- 再エネ機器の導入可否判断、電力外部調達の可能性判断などにより、効果的なエネルギー調達計画を策定
- SBT/RE100など、企業価値を高めるさまざまなアクション・イニシアチブに向けた取り組みを支援
- 海外拠点への省エネ設備・再エネ設備の導入など、海外事業展開を支援可能

低炭素事業領域のサービスラインアップ



日立製作所 環境情報管理クラウドサービスのご紹介

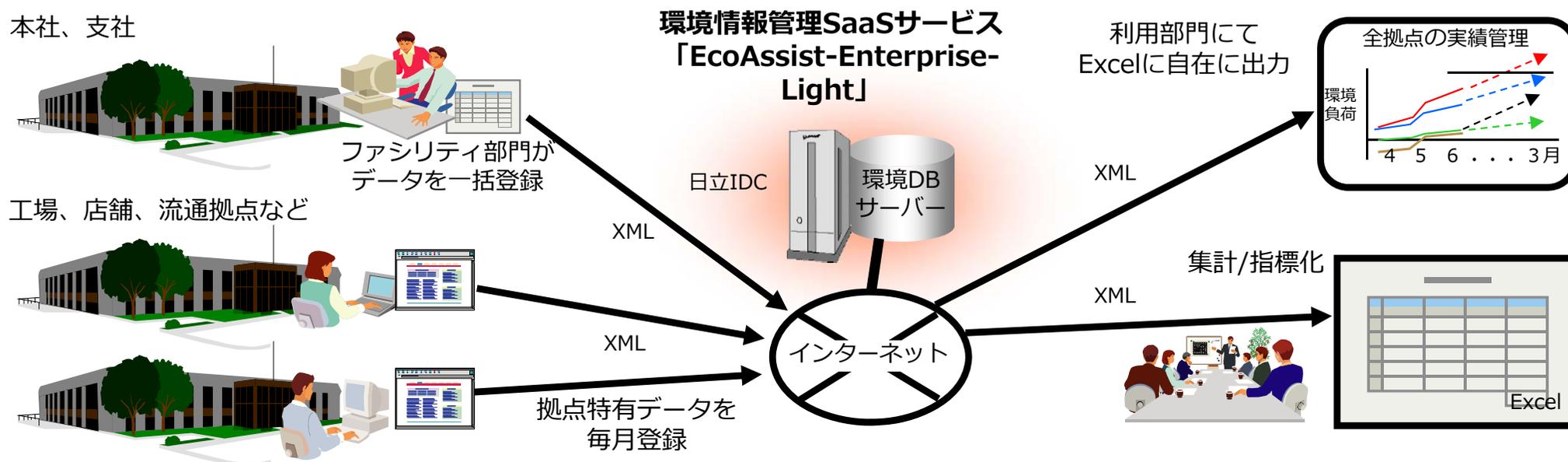
多数拠点の省エネ関連データを、ネットワークを介し一元管理し、集計・分析ができるサービス。国内100拠点以上で利用可能（標準価格帯サービスの場合）。

■ 環境情報管理システム概要

- 複数拠点のデータ収集と集計を容易にし、「全社環境データの使用状況の見える化」を実現
- 管理作業の通常業務への組み込みが容易、自動入力にも対応。（電力デマンド制御システム連携可）
- 省エネ「定期報告書」も自動作成

■ SaaS型(ASP)サービスのメリット

- 短時間でシステム導入が可能、サービス契約なので固定資産化は不要
- システム運用と維持メンテナンスは日立におまかせ、法改正対応などの保守も日立が実施



※ (株) 日立製作所の提供サービスとなります。